

日本労働年鑑 戦後特集(第22集)
The Labour Year Book of Japan post war special ed.

第二篇 労働組合

第二章 主要なる労働組合

5 日本映画演劇労働組合

日本映画演劇労働組合(略称日映演)

(Japan Motion Picture and Theatrical Worker's Union, JMTW)

—全国映画演劇労働組合(全映演)

◇結成 廿一年四月廿八日(廿三年七月)

◇組織 本部 東京都港区芝新橋七の一〇産別会館内

支部

名 称	分会数	組合員数
北海道	12	379
東京	41	6,550
中部	7	811
大阪	8	1,621
東北	7	461
東海	8	1,050
京都	4	1,184
九州	8	606
95分会		12,662名

◇委員長 伊藤 武郎

◇産別に加盟→全労連

東宝労組を中核とするこの組合は廿一年の十月攻勢に「最低賃金制確立」「団体協約の締結」にたち上り、殆んどの組合が要求を貫徹した。併しこの際東宝に分裂が起こり、第二組合が生まれた。この第二組合は新東宝に全員入社したが、これを中心に廿二年五月一日「全国映画演劇労働組合」(全映演)—中立—が結成された。全映演の組合員数は結成当時約一、五〇〇名である。

■←前のページ 日本労働年鑑 戦後特集(第22集)【目次】 次のページ→■
日本労働年鑑【総合案内】

大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)
